

# 働き方の多様化に伴う旅のスタイル変化 ～東アジアの現状と今後の可能性～

2021年10月28日

観光地域研究部 地域戦略室  
室長/上席主任研究員

守屋 邦彦

1. はじめに
2. 日本の働き方の変化やワーケーション等の現状
3. 韓国・中国の働き方の変化やワーケーション等の現状
4. 台湾の働き方の変化やワーケーション等の現状
5. まとめ

# 1. はじめに

- コロナ禍によりテレワークが拡大、これを機会と捉え、特にワーケーションに注目した「新たな旅のスタイル」を国が推進。日本人による実践も進みつつある。
- 一方で、コロナが一定程度収束し、外国人旅行者が再び渡航してくることが可能な状況になった際にまず回復してくると見込まれる**東アジア各国・地域**（**韓国・中国・台湾**）における、働き方の多様化に伴う旅のスタイル変化の動向については、まだ整理・発信がほとんどされていない。
- そこで、今後の日本の観光地づくりを考える上での一助とするため、まずは**韓国・中国・台湾**における現状等について把握・整理した。

## 「新たな旅のスタイル」の主なタイプ

### 個人型

### ワーケーション

休暇活用(福利厚生)タイプ  
(休暇の合間に業務)

日常埋め込みタイプ  
(ノマド的働き方)

### ブレジャー

休暇付け足しタイプ  
(出張前後に休暇を付け足す)

### 団体(企業)型

サテライトオフィスタイプ  
(遠隔地のオフィスで業務)

社員研修(地域課題解決・合宿)タイプ  
(オフサイトミーティング+地域交流)

## ■ワーケーション(Workation)

テレワーク等を活用し、普段の職場とは異なる場所で**余暇を楽しみつつ仕事を行うこと**

## ■ブレジャー(Bleisure)

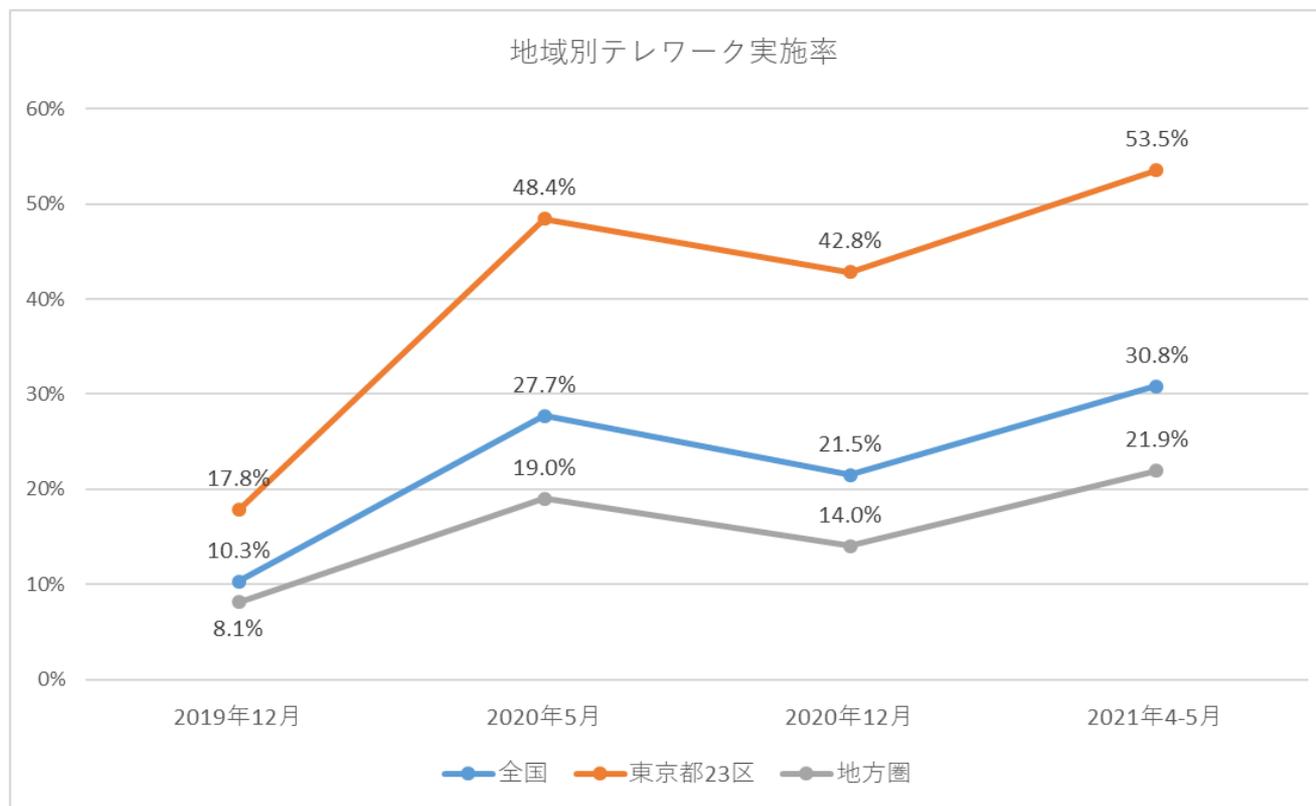
出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして**余暇を楽しむこと**

## 2. 日本の働き方の変化や ワーケーション等の現状

# 日本の働き方の変化やワーケーション等の現状

## ■ 地域別テレワーク実施率(就業者)

- 2021年4-5月時点のテレワーク実施率は全国で**30.8%**。コロナ禍初期の2020年5月時点と比べても**実施率は上昇**している。



### <調査方法等>

○調査方法 インターネット調査(国内居住のインターネットパネル登録モニター)

○回収数 2020年5月、2020年12月、2021年4-5月とも10,128(うち第2回回答者7,371人)

○調査期間 2020年5月25日～6月5日、2020年12月11日～17日 2021年4月30日～5月11日

○回収数の割付 ・性別・年齢階級別(10歳毎)で同数を均等に割り付け ・地域別7区分で人口比例で割り付け

※地方圏一三大都市圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、三重県、岐阜県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)以外の北海道と35県

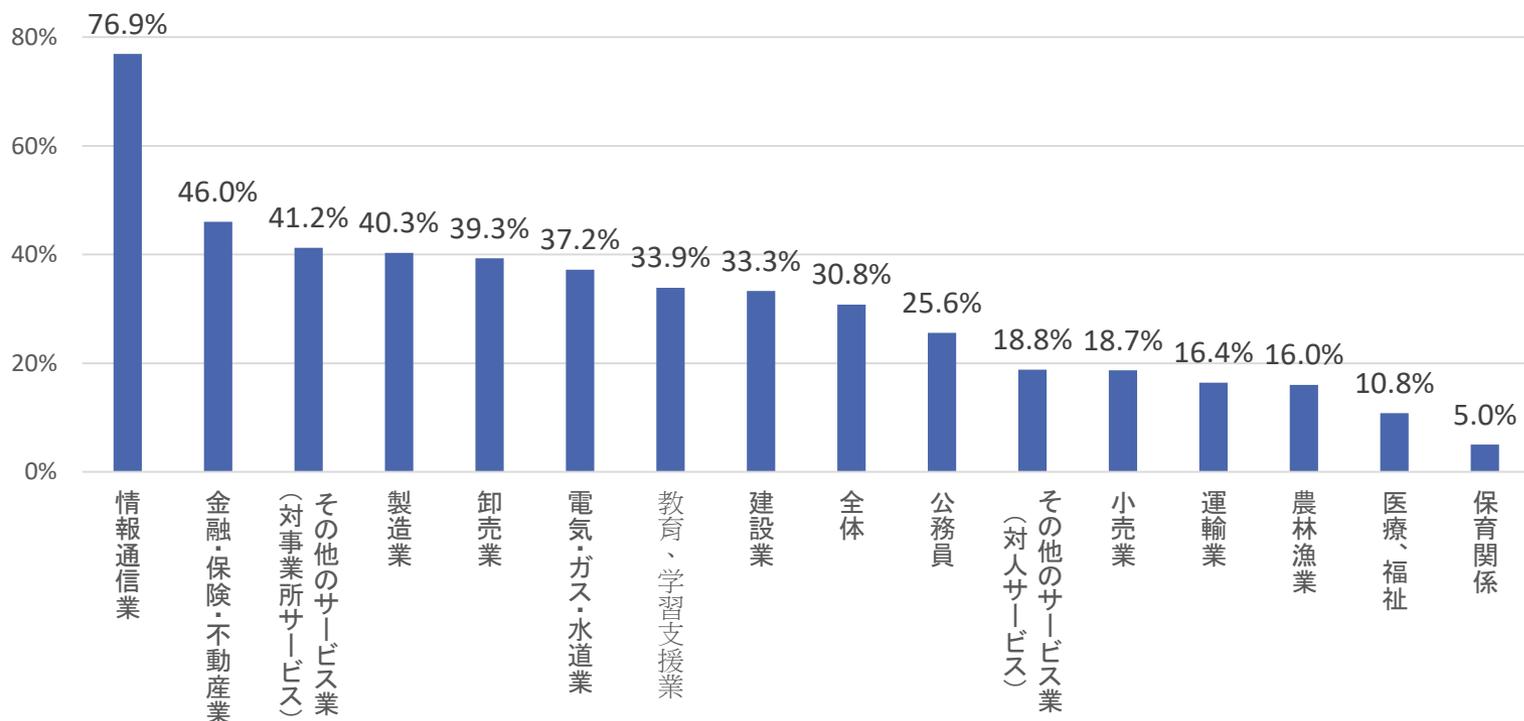
内閣府「第3回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」より

# 日本の働き方の変化やワーケーション等の現状

## ■ 業種別のテレワーク実施率(就業者)

- 業種によりテレワーク実施率にはばらつきがみられる。
- 最も実施率が高いのは「**情報通信業**」で**76.9%**と、他業種に比べ実施率が非常に高い。以下「金融・保険・不動産業」46.0%、「その他のサービス業（対事業所サービス）」41.2%と続く。
- 医療、福祉や保育関係はそれぞれ実施率が10.8%、5.0%と非常に低い。

業種別のテレワーク実施率

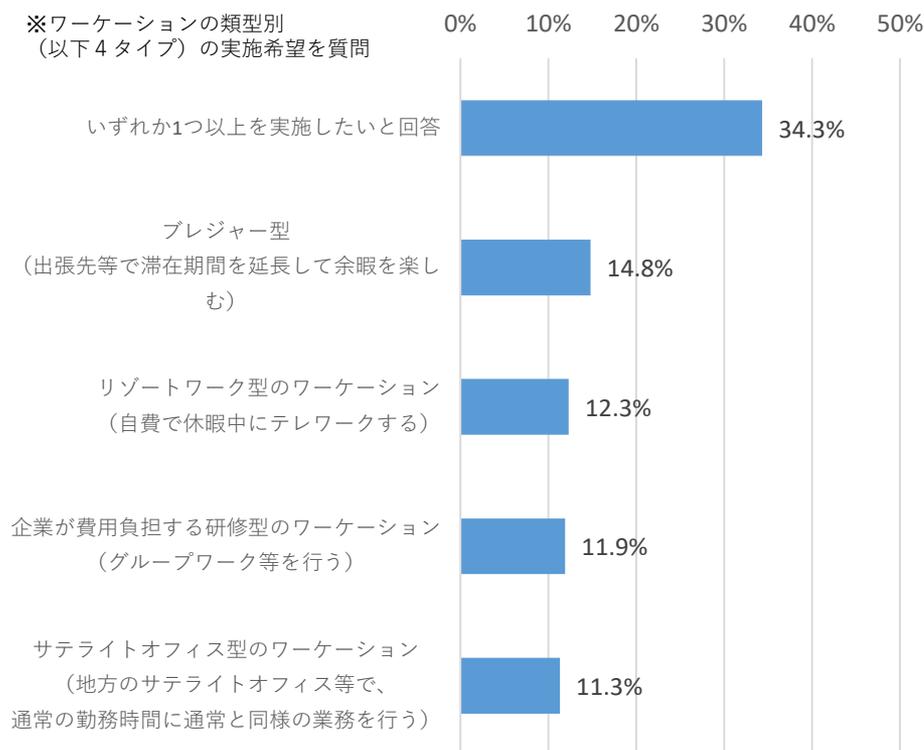


# 日本の働き方の変化やワーケーション等の現状

## ■ ワーケーション実施希望(就業者)

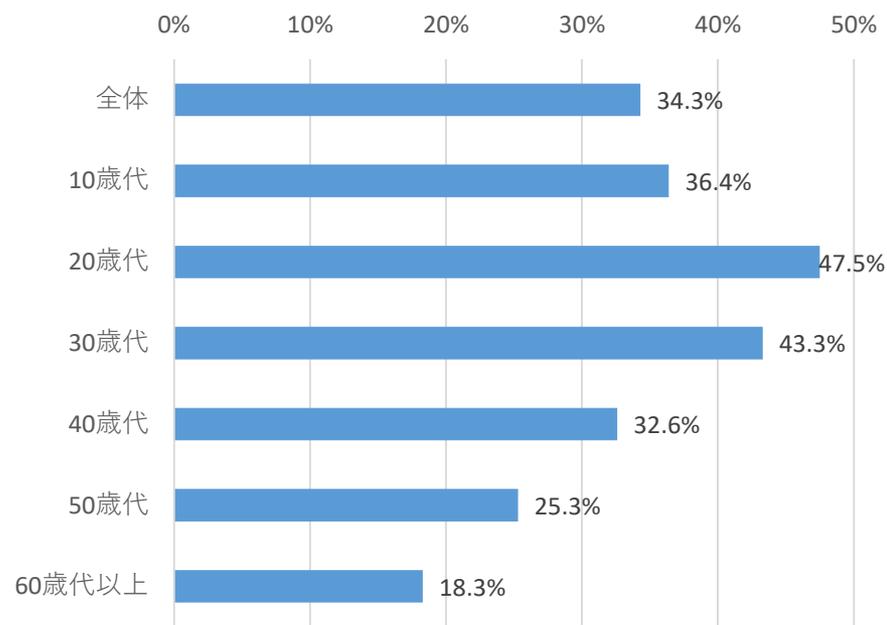
- ワーケーションの各類型（プレジャー型、リゾートワーク型、研修型、サテライトオフィス型）のいずれか1つ以上を実施したいとの回答は34.3%。各類型の希望は約11~15%で大きくは変わらず。
- 年代別では**20歳代、30歳代が実施希望40%以上**と他の年代に比べ高い。

ワーケーションの実施希望



年代別のワーケーションの実施希望

<ワーケーション類型4タイプ（プレジャー型、リゾートワーク型、研修型、サテライトオフィス型）のうち、いずれか1つ以上を実施したいと回答した割合>



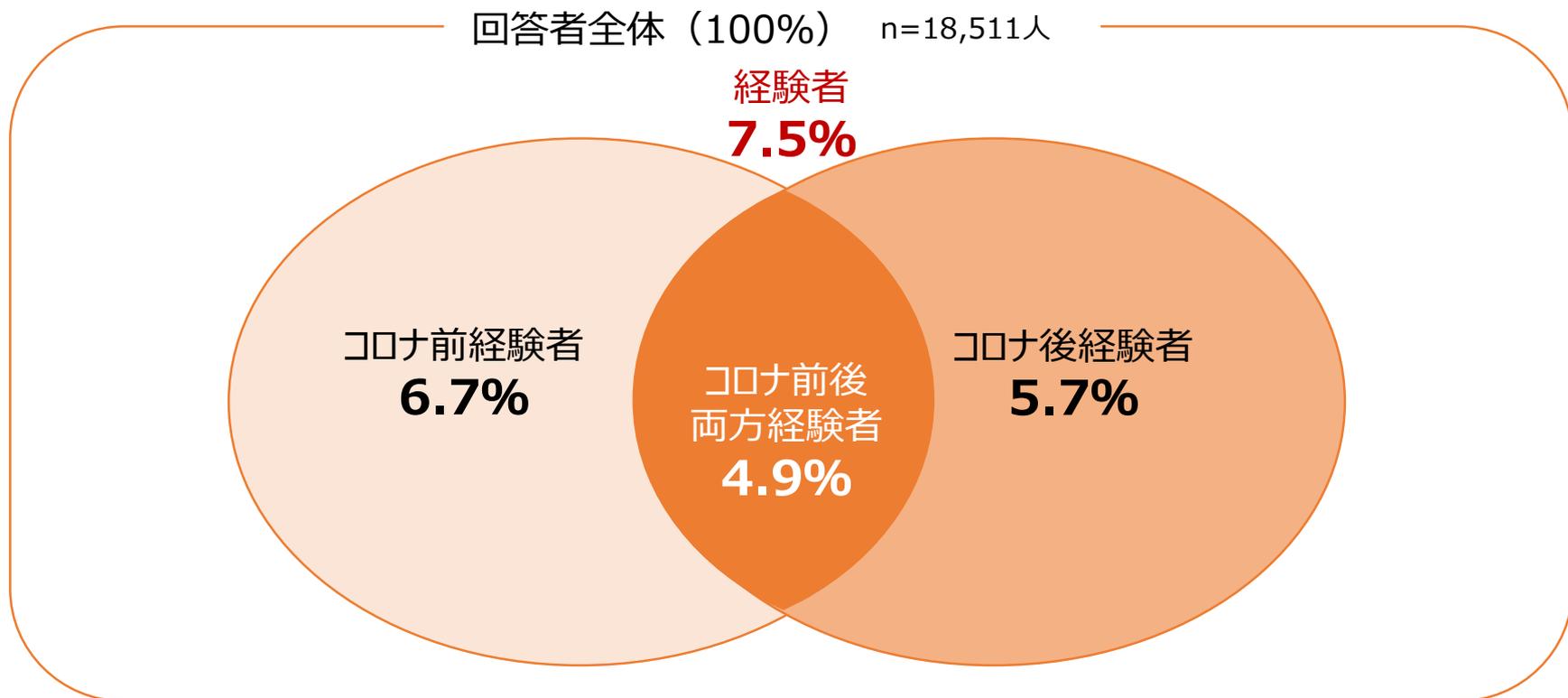
内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(※2020年12月調査実施)より

# 日本の働き方の変化やワーケーション等の現状

## ■ 休暇旅行中の業務経験者の割合(JTBF実施アンケート(2021年3月)結果より)

設問：あなたは休暇の旅行中に**業務**(いわゆるワーケーション)を行ったことがありますか

(※本格的な業務(会議出席や資料作成等)実施のみ)



経験者→2019年1月～現在での経験者

※コロナ前 (2019年1月～2020年3月)

※コロナ後 (2020年4月以降)

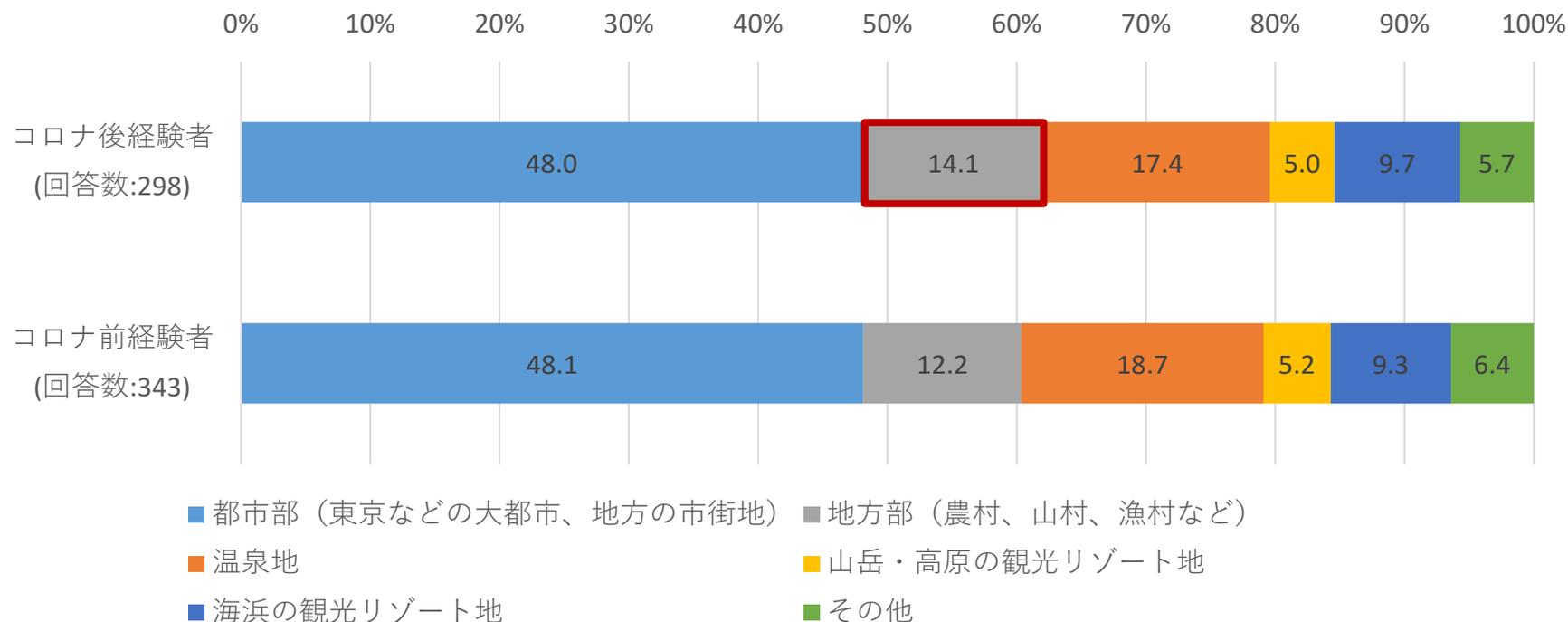
### 出典：(当財団実施) 休暇旅行中の業務経験に関する調査

- ・調査対象者条件：下記を除く全国の20歳～69歳の男女
  - \* 除外対象：パート・アルバイト、家事専業、学生、無職
- ・回収サンプル数：スクリーニング18,511サンプル、本調査300サンプル
- ・調査期間：2021年3月25日(木)～26日(金)
- ・調査手法：インターネット調査(株式会社クロス・マーケティングの回答者パネルを利用)

# 日本の働き方の変化やワーケーション等の現状

## ■ 休暇旅行中に業務を実施した際の旅行先(JTBF実施アンケート(2021年3月)結果より)

- コロナ前経験者・コロナ後経験者とも「都市部（東京などの大都市、地方の市街地）」が約半数。
- 「地方部（農村、山村、漁村など）」がコロナ後経験者でやや割合が大きい。



※複数回答（一人が大都市も温泉地も選択など）があるため、回答数が回答者数(300)を越えるケースもある

# 3. 韓国・中国の働き方の変化や ワーケーションの現状

## ■ 韓国のテレワークの現状

- 韓国の統計によれば、2020年の在宅・リモート制労働者は50万3000人で、**前年同期比5.3倍の急増**。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面接触を気にする社会の雰囲気形成されたのが直接の原因。
- 「仕事をする際に、関係を構築することを好まない世代（1980～2000年代初め生まれ）の登場や、仕事と家庭の両立を重要視する文化などが強くなり、**ポストコロナ時代にも在宅勤務が徐々に拡大**するだろう」との予想もある。
- 在宅勤務者は、第4波が起きた2021年7月以降大きく増えたと推定。政府は同月、企業の従業員のうち30%は在宅勤務をするよう勧告措置を下した。
- また、柔軟勤務制を導入していない会社に通う賃金労働者のうち、89万6000人は「今後、在宅勤務の導入を希望する」という反応。

出典) <https://www.mk.co.kr/news/economy/view/2021/07/720946/>

## ■ 労働者の休暇支援事業

- 政府と企業が共同して労働者の国内旅費を支援する事業（2021年は10万人分実施）。
- **参加者（労働者）が20万ウォンを積み立てると、企業が10万ウォン、政府が10万ウォンを支援し、計40万ウォンを旅行等に活用することが可能。**

## 【韓国国民の現状】



出典) <https://vacation.visitkorea.or.kr/travel/worker/renewal/workerInfo.do?gubun=intro>

## ■ 韓国国内の観光地等でのワーケーション対応の動き

### ①江原道(カンウォンド) <実施→江原道観光財団>

- インターネット通販サイト（旅行商品の販売もあり）のインターパークと共同で、2021年3月末に企画商品「江原ワーケーション」を販売。  
**2カ月余りで8,238泊**を販売。
- インターパークの販売分析では、道内の平日宿泊は**前年同期比25%以上増加**。  
平日3泊以上の予約は合計1,326泊を記録し、前年より13%増加。
- 人気旅行先は、江陵（カンヌン）21.9%、東草（ソクチョ）が21.5%。  
高城郡（コソン郡／韓国の最北東）の場合、昨年と同じ期間よりも平日宿泊が97%増加。



カンウォンド



#### PRデザイン

江原道ワーケーション特集  
#山に出勤 #海に退勤  
今日は江原道に出勤します！

## ■ 韓国国内の観光地等でのワーケーション対応の動き

### ②慶尚北道(キョンサンブクト) <実施→ 慶尚北道庁>

- 企業を農村に誘致するために、全国で初めて「**農村ヒーリングワーク事業**」を推進。
- 慶尚北道庁は、義城郡マンガョン村"農村体験レクリエーション村"にて、「第4次産業革命の時代、企業-農村 革新的な共存モデルのための業務協約式」を締結。締結には(株)ラオンピープル、義城郡、マンガョン村、(社)慶北農村体験レクリエーション村協議会が参加。
- 協約には、企業労働者の創造性と効率性を高めることができる**ワークスペースを提供**し、農村体験観光の活性化のための**継続的な訪問**など、都市と農村の交流を広げ、農村地域の活力を増大させるための実質的な内容が盛り込まれている。
- 今回第1号企業として参加しているラオンピープルは、京畿道城南市に本社を置く、コスダック上場企業で従業員数は167人、売上高は307億ウォン。今年2月に韓国知能情報社会振興院が発刊した「世界が注目する人工知能スタートアップ」報告書で、韓国企業のうち1位に選ばれた企業。



## ■ 韓国国内の観光地等でのワーケーション対応の動き

### ②慶尚北道(キョンサンプクトド) <実施→ 慶尚北道庁>

- 慶北文化観光公社は、中央線(KTX-継手)開通でアクセスが改善された安東・醴泉・奉化で旅行商品を試験運用。旅行商品は、「**リラックス**」「**体験**」「**自転車旅行**」などの3つのテーマで構成。
- 「リラックス」は、旅行者が宿泊施設で快適にワーケーションを楽しむことができるように**宿泊のみが含まれている**。SNSにて旅行中の日常のアップロード、旅行後記の作成など指定されたミッションを実行すると、旅行中に発生した食事代を最大4万円まで取り戻すことができる。
- 「体験」は**往復のKTX、レンタカー、宿泊まで含めた特化型商品**である。休暇の季節を迎えて色々と旅行したいカップルや家族に最適で、ミッションを実行すると、体験費、入場料を最大5万円まで取り戻すことができる。
- 「自転車旅行」は、洛東江自転車道などを経る商品に**往復バスや案内スタッフ**などが同行する。
- 旅行者は各テーマ別に3泊4日、6泊7日を選択することができ、少なくとも2人から購入可能。

경북 일주일살기

오래오래 머물고 싶은 경상북도에서  
지친 나를 위한 '살' 여행을 선물해보세요!

여행지 경상북도 안동/병화/예천 판매가 95,000원~

• 상품 구성 •

일정	상품명	포함 내용	판매가
3박 4일	휴식형 3박 4일 (개별이동+숙박)	3박 4일 숙박비, 식사비 패키지(최대 3만원)	95,000원
	체험형 3박 4일 (KTX+렌터카+숙박)	KTX 왕복 열차비, 3박 4일 렌터카비, 숙박비, 체험 및 입장료 패키지 (최대 4만원)	207,000원
6박 7일	휴식형 6박 7일 (개별이동+숙박)	6박 7일 숙박비, 식사비 패키지(최대 3만원)	150,000원
	체험형 6박 7일 (KTX+렌터카+숙박)	KTX 왕복 열차비, 6박 7일 렌터카비, 숙박비, 체험 및 입장료 패키지 (최대 4만원)	297,000원

\*여행 종료 후, 여행 후기를 남겨주시면 추가혜택(10,000원 상당)이 제공됩니다.  
\*패이백은 미선달성 후, 여행 종료 시 지급됩니다.  
\*선착순으로 조기 마감 될 수 있습니다.

상담문의 1644 - 7786  
\*본 사업은 경상북도 문화관광공사와 함께합니다.

PR디자인

出典) <http://www.blognews.kr/news/articleView.html?idxno=32457>

## ■ テレワーク拡大の背景:新型コロナウイルス感染症対策に伴う利用拡大

### 春節期間の延長及び生産再開の延期

- 2020年1月23日10時以降、武漢市の地下鉄、路線バス、フェリー、高速バス、高速鉄道、空港が遮断されると発表した（**事実上の武漢封鎖**）。
- 2020年1月26日に中国国家衛生健康委員会は、現時点では、新型コロナウイルス感染症の潜伏期間は最大14日間と発表。
- 2020年1月27日に中国国務院は、2020年の春節（旧正月）期間中、新型コロナウイルス感染症の発生を防止・抑制するために、春節連休（2020年1月24日～1月31日まで）を2020年2月2日まで延長すると発表した。
- その後、感染拡大が急速に進んだことにより、20以上の省政府が**企業の生産活動再開を2月9日の24時まで遅らせる**ことを義務付けた。

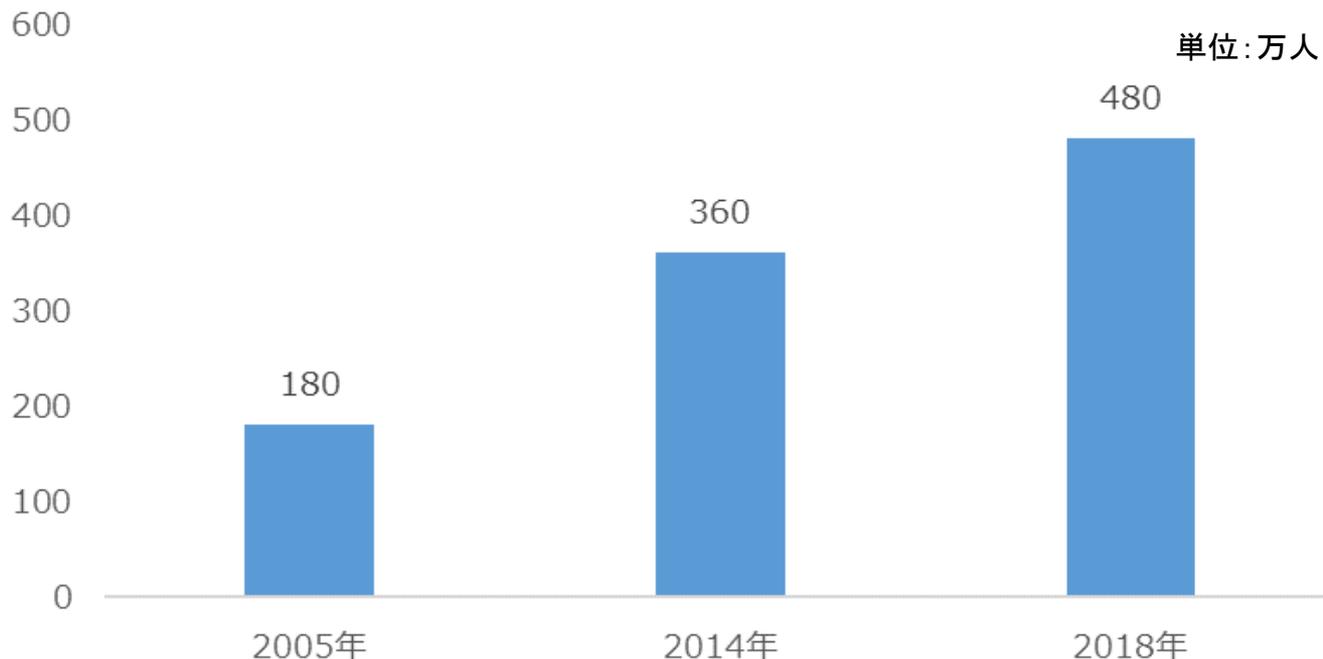
### 企業のデジタルトランスフォーメーションの推進

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年2月9日、中国工業情報部より《关于应对新型冠状病毒肺炎疫情帮助中小企业复工复产共度难关有关工作的通知（新型コロナウイルス感染症に係る企業の生産活動再開支援対策に関するガイダンス）》が発表された。その中で、**企業のデジタルトランスフォーメーションの推進・支援が言及**された。
  - ✓ 中小企業向けのインターネットプラットフォームサービスを拡大させ、オンライン会議、リモートサービス等のオンラインサービスを積極的に推進し、中小企業のデジタル基盤の整備及び管理レベルを向上させる。
  - ✓ オフラインのビジネスモデルの企業向けにオンラインを通じた新たなビジネスモデルの創出を支援し、オンラインによるサービスを拡大させる。

## ■ 中国の「遠程弁公(テレワーク)」の現状\_\_コロナ前の需要

- 中国投資研究所が発表した「2021-2025年中国におけるテレワークに関する深層研究と投資見通し」報告書によると、2005年には中国のテレワーク実施者は180万人だったが、2014年には360万人にまで増加し、年間8%の増加となっている。
- 2018年のテレワーク者数は490万人に達している可能性があるという一方、**人口比率から見るとテレワークの普及率はまだ低い**と言える。

テレワーク者数の推移



出典) 中国投資研究所 「2021-2025年中国におけるテレワークに関する深層研究と投資見通し」報告書より作成

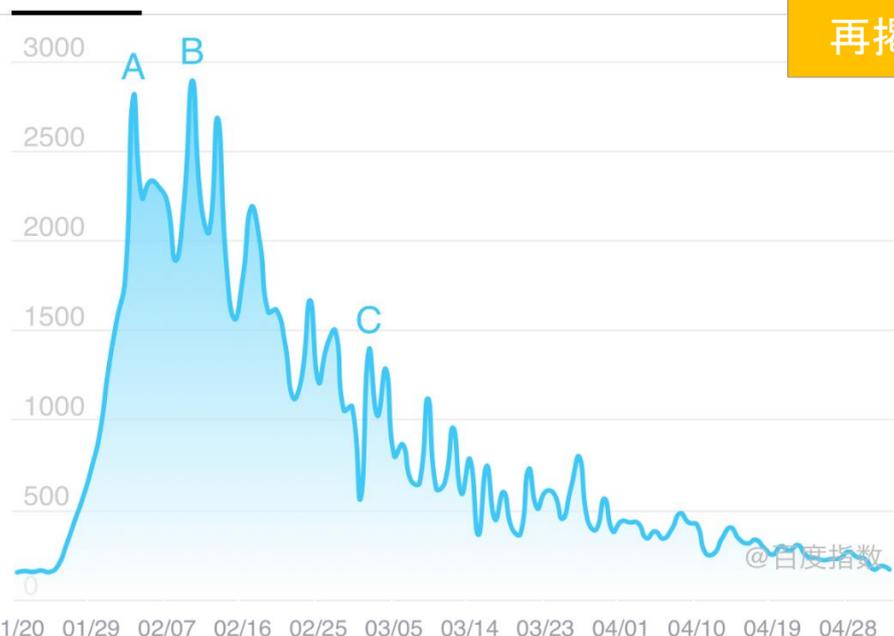
# 中国 働き方の変化やワーケーションの現状

## ■ 中国の「遠程弁公(テレワーク)」の現状\_\_コロナ前後の変化

- 新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、「遠程弁公(テレワーク)」に関する検索が著しく減少した。
- 感染状況の変化が「遠程弁公(テレワーク)」に及ぼす影響が大きいと考えられる。

2020年2月1日～2020年5月3日  
「遠程弁公(テレワーク)」に関する検索状況

検索指数 资讯指数 <sup>new</sup> PC+移动, 自定义, 全国



2020年2月1日～2021年8月4日  
「遠程弁公(テレワーク)」に関する検索状況

検索指数 资讯指数 <sup>new</sup> PC+移动, 自定义, 全国



データ更新时间：每天12~16时，受数据波动影响，可能会有延迟。

データ更新时间：每天12~16时，受数据波动影响，可能会有延迟。

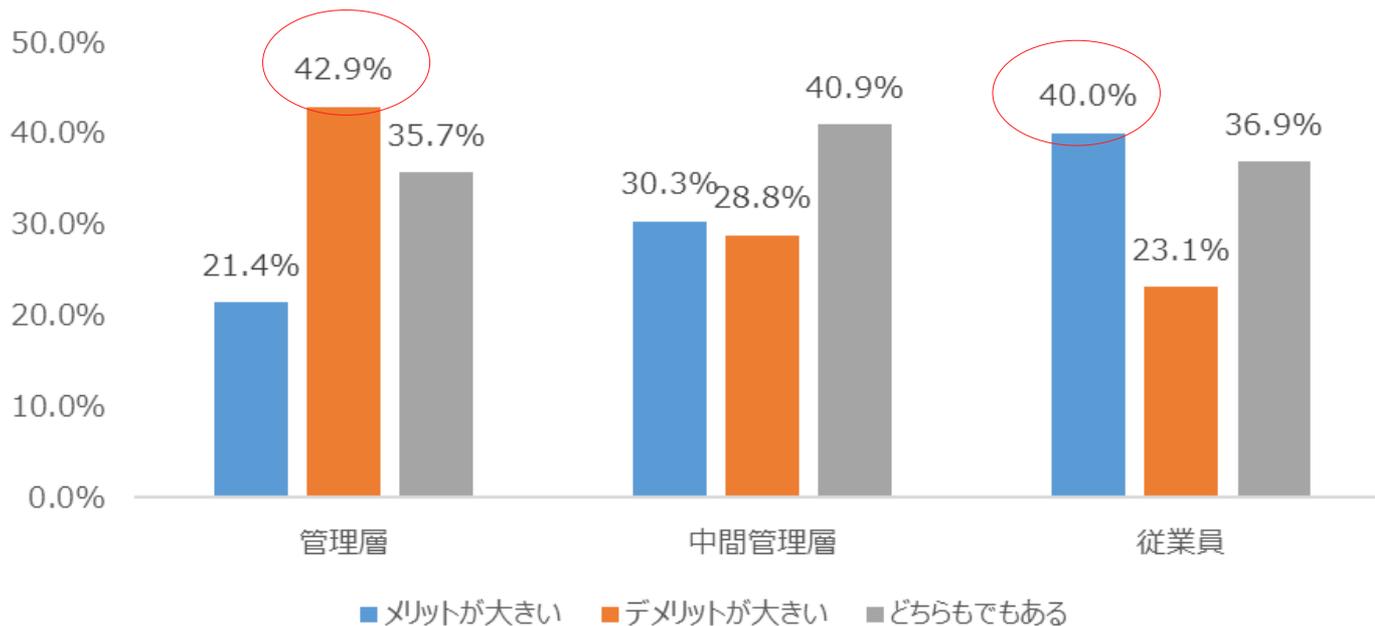
百度指数「検索キーワード:遠程弁公」

# 中国 働き方の変化やワーケーションの現状

## ■ 中国の「遠程弁公(テレワーク)」の現状\_\_利用者調査

- テレワーク満足度において、**管理層はデメリットを大きく感じており（42.9%）**、「業務効率」「共同作業」「秘密保持・セキュリティ確保」等が課題として挙げられている。
- 一方、**従業員はメリットが大きい（40%）と感じる**という対照的な結果となっている。  
テレワークを推進していくには、管理層と従業員の認識に関する課題解決が重要と考えられる。

テレワークの満足度（2020新型コロナウイルス感染症対策）



出典) 中投顧問 中投産業研究「2021年中国遠程弁公産業発展研究報告」より作成

## ■ 中国の「遠程弁公(テレワーク)」の今後

- 2018年のテレワーク実施者が490万人で市場需要がまだ低い現状にあるが、新型コロナウイルス感染症への対応を契機に利用が急速に拡大し、テレワークを選択しても良いという勤務スタイルから、テレワークが**必要とされる勤務スタイルの一つの選択肢**、として広がっている。

### 現状から推測される未来需要

#### 利用の普及

- 新型コロナウイルス感染症への対応で、旧正月に仕事を再開した後、多くの企業が従業員に自宅からの在宅勤務を奨励した。それによって、リモートワークの需要は加速し、今後も成長していく可能性がある。

#### 技術環境・市場における 需要

- 技術面では、5G等の情報技術が進歩し、ソフトウェア・アプリケーション・モデルの革新等による土台の整備及び改善が出来ている。
- 企業においてマネジメントに注力することが求められ、テレワークに関する需要にも繋がる可能性がある。

#### 市場規模

- 中国のクラウドオフィス業界の市場規模は、2019年に200億円を超え、2020年には450億元近くになる見通し。  
(中商産業研究院「2020年遠程弁公行業市場規模及未来發展予測」レポート)

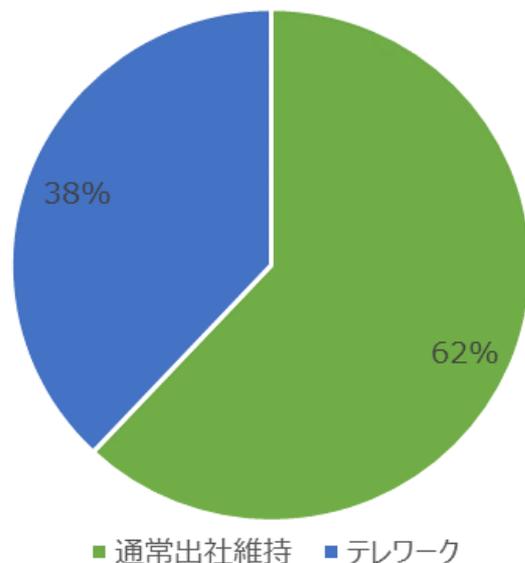
現在のテレワーク市場規模がまだ小さいが、今後の成長には期待  
ワーケーションについては動きが見られず

## 4. 台湾の働き方の変化や ワーケーション等の現状

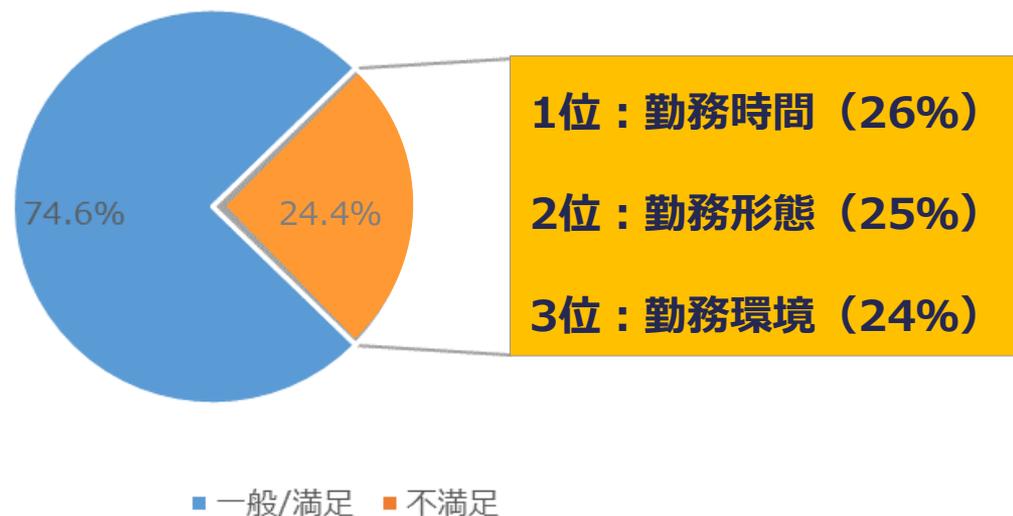
## ■ 台湾のテレワークの現状

- 新型コロナウイルス感染者の増加によって、2021年5月19日から台湾全域の感染警戒レベルは第3級に引き上げられた。防疫措置が強化されている中、テレワークを希望する比率は54.2%に対して、実際の**実施率は38%**に留まる。実施の満足度は74.6%、不満足は24.4%であった。

コロナ禍・第三級警戒下のテレワーク実施率



テレワークの実施満足度



出典) beBit「関于2021疫情下台湾員工工作型態洞察」報告

※2021年6月11日～6月21日実施 有効サンプル数693 2021年7月29日より第2級警戒へ引き下げ

# 台湾の働き方の変化やワーケーション等の現状

## ■ 台湾の「遠距工作(テレワーク)」の現状

- 家庭構成、業種別、業務別、役職別に、テレワークを希望する比率及び実際の実施率は異なる。
  - ✓ 子供の年齢では、7～12歳の子供を持っている従業員が、テレワークを希望する比率 **(62.6%)** 及び実施率 **(43%)** とともに最も高い。
  - ✓ 業種別では、情報サービス業においてテレワークを希望する比率が一番高く **91.7%**。テレワークの実施率が一番高いのは文化教育業で **64.3%**。
  - ✓ 業務別では、パソコンを使用する事務業務の従業員においてテレワークを希望する比率が一番高く、69.2%。テレワークの実施率が一番高いのは、現場従業員 (49.9%) となる。
  - ✓ 役職別では、高級管理職がテレワークを希望率 (77.8%)、実施率 (56.3%) とともに最も高い。

子供の年齢	希望率	実施率
0～6	61.1%	36.9%
<b>7～12</b>	<b>62.6%</b>	<b>43%</b>
13～15	59.6%	35.1%
16～18	54.6%	34.5%

業種	希望率	実施率
<b>情報サービス</b>	<b>91.7%</b>	61.1%
<b>文化教育</b>	77.4%	<b>64.3%</b>
金融	75.9%	57.1%
科学技術	52.9%	30.7%
百貨店小売り	37.5%	17.6%
飲食サービス	25%	25%

業務内容	希望率	実施率
パソコン活用	<b>69.2%</b>	44.4%
外出型	50%	36.8%
現場型	49.4%	<b>49.9%</b>
プライベート型	43.5%	36.6%
社内型	28.7%	16.4%

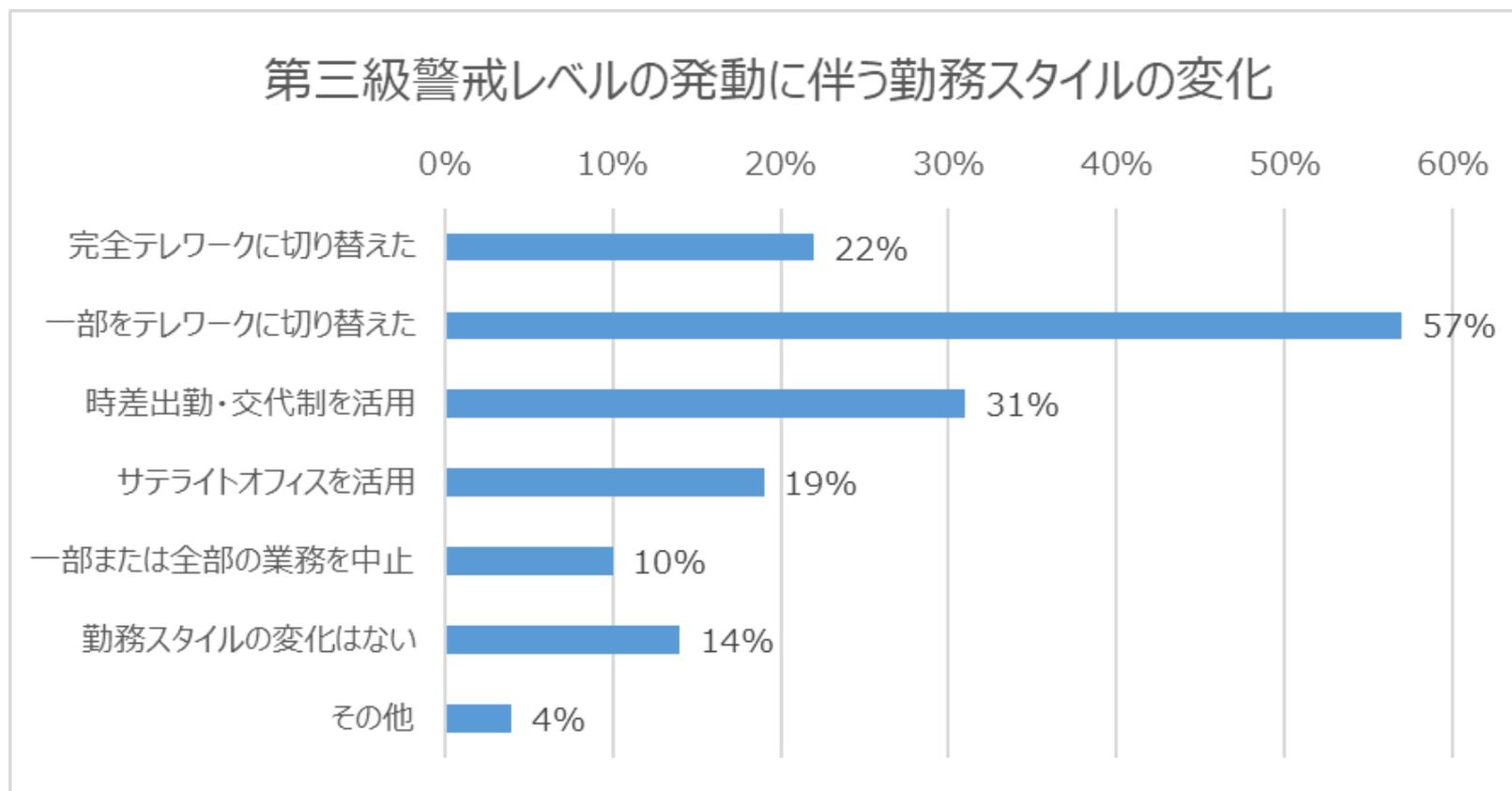
役職	希望率	実施率
高級管理職	<b>77.8%</b>	<b>56.3%</b>
中低層管理職	66.1%	46%
チーム従業員	52.9%	33.6%
個人従業員	43.7%	32.1%

出典) beBit 「関于2021疫情下台湾員工工作型態洞察」報告

※2021年6月11日～6月21日実施 有効サンプル数693 2021年7月29日より第2級警戒へ引き下げ

## ■ 台湾の「遠距工作(テレワーク)」の現状

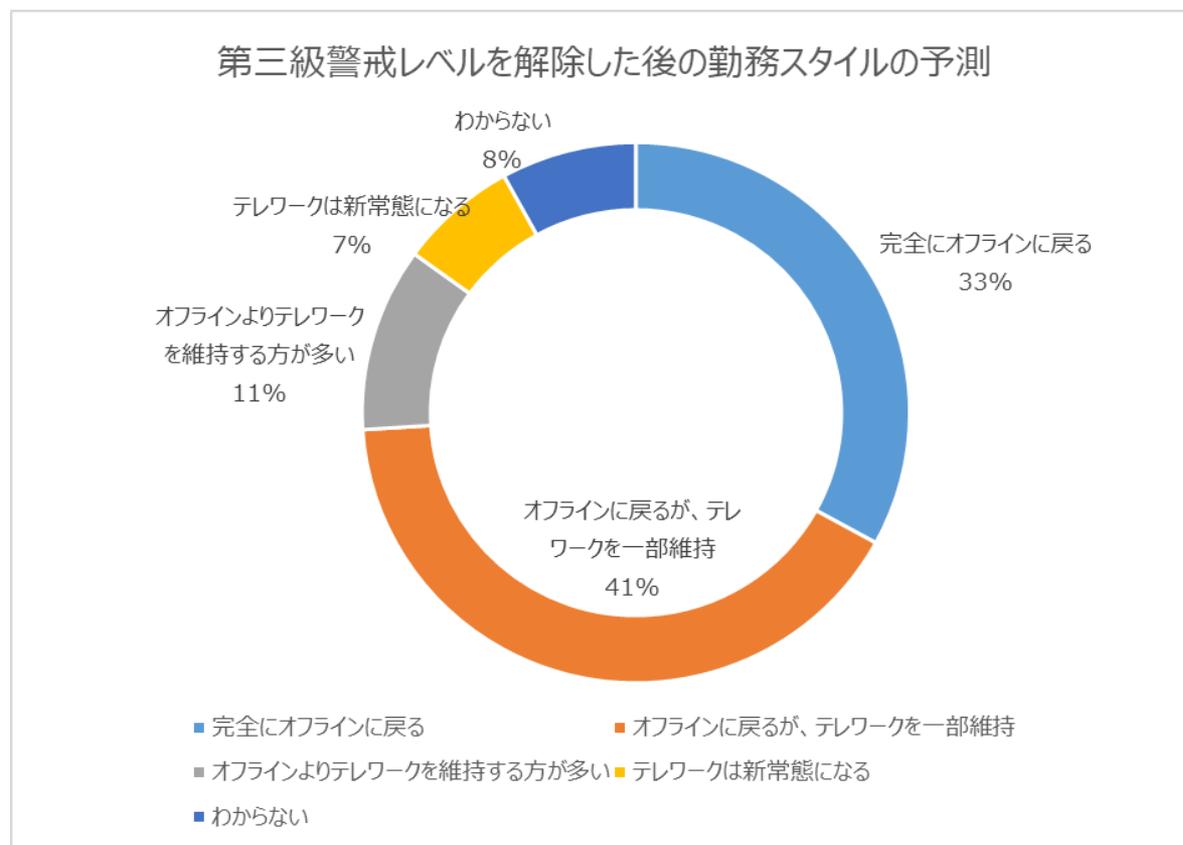
- 台湾は第三級警戒レベルに引き上げられてから、**勤務形態の一部をテレワークに切り替えた企業が一番多く57%**となる。ほか、時差出勤・交代制等の取組みが行われている。



出典) HENNGE 「台湾企業WFH現状調査(2021)」報告 ※2021年7月1日ヒアリング調査実施 ヒアリング対象者数100名/IT責任者

## ■ 台湾の「遠距工作(テレワーク)」の今後

- 第三級警戒レベルが解除された後の勤務形態の変化については、「オフラインに戻るが、テレワークを一部維持」といった、オフラインとオンライン両方ができるようになるという回答が一番多く、**全体の41%**を占める。



### <留意点>

- 台湾衛生福利部（衛生省）中央流行疫情指揮中心は2021年7月23日、台湾全域で第三級としている新型コロナウイルス感染症の警戒レベル（第1級が最も緩く、第4級が最も厳格）を、7月27日から第二級に引き下げることを決めた。
- それによって、企業の勤務形態にどのように影響するかを継続的に注目する必要がある。

**天主教輔仁大学 民生学院／餐旅管理学系  
特別研究教授 蘇 哲仁氏  
インタビュー動画①**

**<台湾のテレワークの現状>  
<台湾のワーケーションの現状>**

## ■ 台湾におけるワーケーションの取組み例

### 天成飯店集團(コスモスホテルグループ) <台北・花蓮>

- 花蓮・台北にあるグループの4つのホテルへの旅行を2021年9月30日までの期間限定で2名で9,999元(約4万円)のオンライン割引クーポンを販売。クーポンを購入すると、4つのホテルが1泊ずつ利用可能。
- 台北の3つのホテルは1泊朝食(お弁当付き)。
- 花蓮のホテルは1泊夕食・朝食つき(※日曜日~木曜日の利用に限定)
- 同グループでは、ビジネス客向けに台北のホテルで週単位や月単位の価格設定も実施
  - 一週額家賃(7日連続利用) : 6,000元(約24,000円)
  - 一月額家賃(30日連続利用) : 27,000元(約108,000円)



出典) [https://www.tw-cosmos.com/4in1\\_package/](https://www.tw-cosmos.com/4in1_package/)

# 5. まとめ

**天主教輔仁大学 民生学院／餐旅管理学系  
特別研究教授 蘇 哲仁氏  
インタビュー動画②**

**<ワーケーション拡大の可能性>**

## 【東アジア(韓国・台湾・中国)のワーケーション拡大の可能性】

- WFH(Work From Anywhere)への動きもあり、これに対応した取組は重要。ワーケーション拡大の可能性は、**韓国>台湾>中国**と想定。
- 韓国・台湾とも、自国の地方部や観光地におけるワーケーション受入推進の取組みは日本ほどではない。

**施設等が整った日本でワーケーションを実施する可能性はあるものと想定**

## 【地域・施設に求められること】

- **ニーズにあった商品・サービスの提供**  
(チェックイン/アウト時間、テレワーク可能な空間、子どもへの対応 等)
- **マーケットの特定**  
(ワーケーション実施可能なマーケットは限定的。大企業へのアプローチなども想定できる)

※政策(需要側の後押し)として求められること

– テレワーク(特に家以外での就労)に関する制度整備 (勤務時間、保険適用 等)

**第31回旅行動向シンポジウム 資料（主催：公益財団法人日本交通公社）**

**本資料の引用や転載をご希望の場合は、下記までご連絡ください**

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部 企画室 ([zaidan\\_info@jtb.or.jp](mailto:zaidan_info@jtb.or.jp))